

2025 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 京 成 電 鉄 株 式 会 社  
代表者名 取締役社長 小林 敏也  
(コード番号 9009 東証プライム市場)  
問合せ先  
総務部総務・法務課長 小松崎 一朗  
(TEL. 047-712-7061)

## Palliser Capital の公開資料に関する当社見解について

当社株主である Palliser Capital Master Fund Ltd (以下、「Palliser」といいます。) が、2025 年 6 月 5 日、当社への書簡「京成電鉄の逃した機会とリーダーシップの失敗」を含めたプレスリリースとプレゼンテーション資料「2025 年定時株主総会で不作為という価値毀損のサイクルを打ち破る」(以下、「Palliser 主張資料」といいます。) を公開していることを確認いたしました。

Palliser 主張資料の内容は、これまでと同様に当社と見解が異なる点多々ございますが、本年 6 月 27 日に開催を予定しております第 182 期定時株主総会(以下、「定時株主総会」といいます。)の議案である当社の取締役候補者選任につきましては、事実に即していないと考えており、株主の皆様が適切に議決権を行使されるためには、正確な情報が必要であると考え、ご説明申し上げます。

Palliser 主張資料では、当社の取締役会の規模が過剰であるとの理由で、新任の社内取締役候補者 2 名に反対すると主張しておりますが、当社の社内取締役は、鉄道事業のほか、不動産業、レジャー・サービス業といった主要なグループ会社経営も担うことで、迅速な意思決定によるグループ経営体制を構築しており、これまでの株主総会においても必要な人数として選任いただいております。取締役会の人数規模を純粋持株会社の形態を含めた市場平均と単純に比較した Palliser の主張は、当社事業の特性・実情を全く理解しておらず、社内取締役候補者 2 名を反対する根拠としては合理性に欠けるものであります。

また、当社指名・報酬委員会について、Palliser が推薦する社外取締役候補者の選任プロセスが懈怠していたとして、委員 4 名の取締役選任に反対すると主張しておりますが、定時株主総会において株主様にお諮りする取締役選任議案の候補者選定にあたりましては、4 月より独立社外取締役の中から指名・報酬委員長を選定し、Palliser 推薦の候補者についても最大限真摯に検討するため、他の候補者と同様に指名・報酬委員会全員で面談させていただきました。その上で、当社グループの理念を共有し、中長期的な企業価値の最大化に貢献し得る豊富な識見と高い能力、専門性、独立性、取締役会全体としてのバランス、多様性等の観点から慎重に検討を重ね、複数回の委員会を開催し、取締役候補者を検討した結果、今回、定時株主総会の議案としてお諮りしている候補者と陣容が最適であると判断したものでございます。

Palliser 主張資料における当社のガバナンスや業績、あるいは、面談中の当社社長の行動等の記載は事実と異なるものであり、大変遺憾に感じております。

当社では、超長期的な成長を見据えつつ、短・中長期的にも安定して利益を創出・増加させていくべく、中期経営計画「D2 プラン」を着実に遂行し、株主様をはじめとした全てのステークホルダーの皆様へ持続的に価値を提供してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社グループの事業特性や経営戦略をご理解いただき、当社へのご賛同を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

以 上